

# HO YOG

## 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
【編集】教区基推委広報部

2011. 3 169号



出演はコーラスグループでアブサラス

知っている曲は、参加者が皆で口ずさむような、和やかな雰囲気の中でフェスティバルは進行し、各団体の発表が終わった後には大きな拍手が送られていた。

最後の全体合唱では出演者、参加者の別なく全員で「弥陀大悲の誓願を」を合唱しフェスティバルのフィナーレとなった。

出演者は「最初は緊張したが、歌い始めると心が落ち着いて歌えた」「歌の歌詞の一節が、心にしみた」「同じ曲でも、歌い方、アレンジの仕方が違うと雰囲気が変わった」など話した。

今回出演の団体は次の通り◆兵庫教区仏教婦人会連盟◆永應寺音聲会◆はまゆう◆阪神南組◆コーラス◆阪神東組香華◆コーラス◆阪神西組合唱◆野菊の会◆ほほえみ◆コーラ花◆ルンビニ合唱団◆アブサラス

【出演順】

平成七年二月十七日午前五時四十分、夜明けの鳴き声、朝刊の届く音、何時もの朝を迎え、それぞれの一日を始めようと思っていた時に、阪神淡路大震災が起こりました。家屋の倒壊や火災で被災された方、そして、多くのお亡くなりになられた方、その悲しみにくれるご家族の姿、今尚、その時の傷が癒えない方が居られると云う現実が直に感じました

◆突発的に起こり得る自然の脅威と人間の儚さが感じられた次第であります。そして、その後も自然災害は後を絶ちません。私達は私達の現実をあるがままに受け容れられませんか、人間の煩惱故です◆人間困難な事はある、どの様な事があっても受け容れてくれる真実の世界が阿弥陀如来様の智慧であり、気付いて欲しい、目覚めて欲しい、と云うよび声が慈悲、「御念仏」であります

◆今年、震災でお亡くなりになられた方の七十七回忌法要が勤められています。「ただ念仏のみぞまこと」と宗祖が云われた真意に気付かせて戴きたいものです。

神戸湊組高松寺 谷川弘彦



平成七年二月十七日午前五時四十分、夜明けの鳴き声、朝刊の届く音、何時もの朝を迎え、それぞれの一日を始めようと思っていた時に、阪神淡路大震災が起こりました。家屋の倒壊や火災で被災された方、そして、多くのお亡くなりになられた方、その悲しみにくれるご家族の姿、今尚、その時の傷が癒えない方が居られると云う現実が直に感じました

### 仏教讃歌を通して「いつに」コーラスフェスティバル開催

三月一日(火)、神戸別院ホールを会場に「兵庫教区 仏教讃歌コーラスフェスティバル」が開催された。

本フェスティバルは、教区内のコーラスグループの連携の無い方にも、仏教讃歌に親しんでもらうことを目的として、例年

早春の時期に開かれており、今年で六回目の開催となる。

各コーラスグループからの参加者は二百二十名を数え、また一般鑑賞者も多数の参加をいただき、別院ホールは一杯と

なりました。

フェスティバルは十時三十分より、音楽礼拝(敬礼文・三帰依・さんだんのうた・念仏)の勤めにて開会、各団体が其々の仏教讃歌、自由曲を合唱。

### 教区だより 4月・5月

#### 4月

- 2(土) 第1土曜仏教講座(牧野桂一氏 筑紫女学園大学教授) 13:30
- 4(月) 布教班班長・副班長会議並びに青年布教使代表者会議 13:30
- 5(火) ナモなもキャンパス神戸大会 神戸東照善寺 13:00
- 6(水) 特法協役員会 14:00
- 7(木) 寺婦運営委員会 10:30
- ◆ 連研部会 13:30
- ◆ 仏婦定例法座(本多龍典師 出石組) 13:30
- 10(日) 中仏集い会 10:00
- 15(金) 常例法座(藤桑義文師 新宮組 16日まで) 13:30
- 19(火) 特法協総会・研修会 14:00
- ◆ 総代会四役会 13:30
- 20(水) 少年連盟役員会 16:00

- 20(水) 仏婦委員会・幹部1泊研修会 21日まで
- 27(水) 寺婦委員総会・懇親会 13:30

#### 5月

- 7(土) 第1土曜仏教講座 13:30
- 15(日) 仏青総会 15:30
- ◆ 神戸別院降誕会法要(大西宝雲師 大栗組) 13:30
- 16(月) 常例法座(大西宝雲師 大栗組) 13:30
- ◆ 第14回世界仏教婦人会大会 本山 16日まで
- 17(火) 聖典研鑽会 勉強会 13:30
- 19(木) 総代会評議員総会 10:30
- 20(金) 幼児を対象とした大遠忌法要行事 本山

### 第5回 ナモなもキャンパス (子どもの集い) 神戸大会 ~ぼくも わたしも 仏の子~ 参加者募集!



ナモなもキャンパスの様子(平成20年度)

◆主催/兵庫教区少年連盟 ◆日時/二〇一一年四月五日(火) 一三時〜会場/神戸東照善寺/〒六五九・〇〇六一 芦屋市上宮川町一〇・一二/TEL:〇七九七・二二一五六八九 ◆参加費/子ども二百円(定員百人) 大人二百円 ◆対象/教区内全寺院寺院・門信徒の子ども・少年連盟単位登録会の日校子ども会生及び指導者 ◆日程/十二時三十分〜受付/一三時〜開会式(仏参・お話し)/一三時三十分〜お楽しみ/十六時〜散会 ◆持参品/念珠・持ち物入れ(ナップサック等) ◆申込方法/参加者の名前、子ども・大人かを記入の上、ファックスまたは封書にてお申込み下さい ◆※参加費は大会当日にお支払下さい ◆申込・お問合せ先/兵庫教区教務所 ナモなもキャンパス係/〒六五〇・〇〇一 神戸市中央区下山手通八・一/TEL:〇七八・三二四一・五九九四 ◆参加費/無料 ◆お問合せ先/兵庫教区教務所 特別法務員協議会担当/TEL:〇七八・三二四一・五九九四

「第五回ナモなもキャンパス(子どもの集い)神戸大会」が開催されますので、ご案内いたします。

皆様奮ってご参加下さい。

◆主催/兵庫教区少年連盟 ◆日時/二〇一一年四月五日(火) 一三時〜会場/神戸東照善寺/〒六五九・〇〇六一 芦屋市上宮川町一〇・一二/TEL:〇七九七・二二一五六八九 ◆参加費/子ども二百円(定員百人) 大人二百円 ◆対象/教区内全寺院寺院・門信徒の子ども・少年連盟単位登録会の日校子ども会生及び指導者 ◆日程/十二時三十分〜受付/一三時〜開会式(仏参・お話し)/一三時三十分〜お楽しみ/十六時〜散会 ◆持参品/念珠・持ち物入れ(ナップサック等) ◆申込方法/参加者の名前、子ども・大人かを記入の上、ファックスまたは封書にてお申込み下さい ◆※参加費は大会当日にお支払下さい ◆申込・お問合せ先/兵庫教区教務所 ナモなもキャンパス係/〒六五〇・〇〇一 神戸市中央区下山手通八・一/TEL:〇七八・三二四一・五九九四 ◆参加費/無料 ◆お問合せ先/兵庫教区教務所 特別法務員協議会担当/TEL:〇七八・三二四一・五九九四

### 法式研修会 開催のご案内

この度、兵庫教区特別法務員協議会主催による「法式研修会」が開催されますので、ご案内いたします。

どなたでも参加できる公開研修会となっております。今回の講師は山崎昭壽師(元勤式指導所主任)、講題は「本願寺御歴代の法式」です。

浄土真宗本願寺派の法式・作法について興味がある方、深く学びたいとお考えの方は、ぜひご参加下さい。

◆主催/兵庫教区特別法務員協議会 ◆日時/二〇一一年四月十九日(火) 〇二時三十分〜十七時三十分 ◆会場/本願寺神戸別院/〒六五〇・〇〇一 神戸市中央区下山手通八・一/TEL:〇七八・三二四一・五九九四 ◆参加費/無料 ◆お問合せ先/兵庫教区教務所 特別法務員協議会担当/TEL:〇七八・三二四一・五九九四

### 敬 弔

左記の方が逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します

- 廣岡嬉子(播磨東組安楽寺前坊守) 平成二十二年七月三十日九十九歳
  - 波多攝子(阪神南組正光寺前坊守) 平成二十三年一月九日九十歳
  - 和仁政子(神戸中組教秀寺前坊守) 平成二十三年一月二十七日八十九歳
  - 藤野あや(播磨中組光福寺前坊守) 平成二十三年二月十六日百一歳
  - 武宏文(神戸西組善福寺住職) 平成二十三年二月十六日百四歳
  - 赤松年子(岡山南組浄教寺坊守) 平成二十三年三月四日七十歳
  - 八木俊子(姫路南組最勝寺前坊守) 平成二十三年三月八日九十三歳
  - 東茂嘉(神戸東組西念寺前住職) 平成二十三年三月十四日七十八歳
- 【敬称略】 三月十四日現在

# 現生正定聚で何が語れるか

## — 第三回僧侶研修会 —

二月二十五日、神戸別院を会場に、平成二十二年度第三回目の『兵庫教区講師団・僧侶研修会』が開催された。

午前中は教区教学テーマ「現生正定聚」の講師

団を対象とした研修会が、午後からは、一般僧侶を対象とした公開講座が行われ、ご講師に深川

宣暢師（山口教区大津東組西念寺／本願寺派司教・龍谷大学教授）をお迎えして、「現生正定聚」についてお話をいただいた。

### 登る者の姿勢

私どものご法儀は、浄土真宗と申します。今日は、その現生正定聚ということから話をすることですけれども、全体から少し言っておかねばならないかと思えます。私どもはこのご法義に出遇いました。出遇いましたけれども、このご法義で、この浄土真



笑顔で易しく示される深川師

のだから、最後は一つ、目的は一つ。山の頂の様

なものであつて、どんな話であろうが、どんなことであろうが、結局最後は一緒でっしゃろ。と、

たしかに、元気な人はすーっと二直線に山へ登っていく人もあるでしょう。右往左往しながら、あるいはゆつくり最初から登っていくという人もあるでしょう。また、行ける所までとりあえず行ってみて、後はゆつくり登っていきましようという人、計画を立て、山の向こう側を周りながら登って行くという人もあるかもしれせん。色んな登り方があるんだ

ろうけど、最後は一緒。どうですか皆さん？これは言えそうですね。しかし、言えそうなんだけども、これは何が間違っているのかと言ったら、これは遠くから山を眺めている人の話なんです。あるいは山の地図を見ながら、あの道もある、この道もある、と見ている人のお話なんだと。

### 実践の法

私どもが、本堂に山に登ろうと思ふならば、まずふもとに来なければ一歩も登ることにはなりません。ここにおいでなさい。

ここに来たら何が見えたか？何が見えたかというのと、前を歩いている人の背中が見えたか、目の前に踏みしめられた道が見えたか、あるいはこの私に会いよと言ってくれ、この道を一緒に行くよと言ってくれた人があつたか、それだけなんです。沢山道はあつても、自分が登る道は一本、一つです。

沢山あるからあれも良いこれも良いという所の

話は仏教学です。世界中に仏教学は有ります。しかし、仏教そのものはありません。仏教とは、登ることです。仏道です。実践です。登るためにはここにおいでなさい、と言つて歩いていく人の背中が見えたか、踏みしめられた道があつたか？それだけではなかつたでしょうか？それが登ろうとする人の態度・姿勢です。

### 仏さまをもつこと

現生正定聚というのが、浄土真宗の、このご法義の一つの特色であります。我々はこの身に如来様が届いて下さつていて、如来様とともに生涯を歩み、生きてゆき死んでゆく。その身に成らせていただいております、というものが基本であります。その中に色んな意味が

なると、深川先生は様々に比喻を用いられながら、仏さまを頂いて生きることの意義・味わいをわかり易く法味豊かにお説き下さつた。

## お聴聞の一日

### 〜別院にて布教大会〜

二月二日、神戸別院を会場に『第九回布教大会』（主催／兵庫教区布教団）が開催された。

寒波の真つ只中にもかかわらず、本堂一杯の参拝をいただき、若手からベテランまで様々な布教使によってお取次ぎがなされた。

参拝者からは、「毎回参加しており、一年に一度この日を楽しみにしています。」「今後も命ある



寒い中、上着を着込んで熱心に聴聞

運営への意見・アドバイスをなどを頂いた。出講の布教使は次の通り

【午前の部】◆光山道潤師（神崎組西正寺）「ただ、信心を要とすとするべし」◆石田保孝師（朝来組照福寺）「浄土真宗の役割」◆赤松普宣師（赤穂北組専稱寺）

「仏さまの眼」◆松島法城師（多紀組専福寺）

【現生正定聚について】◆午後部◆大勢智行師（網干組圓通寺）「無碍の道」◆中尾純一師（北摂組極楽寺）「伝説」の意味するもの◆福田高明師（網干組圓勝寺）「帰命無量寿如来」◆足利孝之師（阪神東組安養寺）「生死出づる道」（出講順）

教区布教団主催の布教大会に続き、三月四日、別院本堂を会場に『布教神戸大会』（主催／本願寺布教同志会兵庫支部）が開催された。

【聞きましよう 阿弥陀さまの願い】をキャッチフレーズに開催される同布教大会は、今年で十一回を数え、多くの参拝で賑わつた。

大会関係者は「過去の大会と比較して、お参りが少し減っているのに、盛り上げていかなければならない。」「時代の流れというものもあるのかもしれないが、我々布教をする側も、お取次ぎの仕方、ご法義をお伝えする時の言葉の使い方等々

【中央教修へ！】◆連研履修者研修会

二月十三日、神戸別院にて、『平成二十二年連研履修者研修会』が開催



研修を受ける参加者